



2023年9月28日

各位

会社名 株式会社 ispace
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史
(コード番号: 9348 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平
(TEL. 03-6277-6451)

ミッション3の基本設計審査 (PDR: Preliminary Design Review) プロセスの完了に関するお知らせ

当社米国子会社である ispace technologies U.S., inc. (以下 ispace U.S.)は、2023年9月28日を以て、ミッション3の重要な開発マイルストーンである、月着陸船 (以下ランダー) のすべての基本設計審査 (以下PDR) が完了したことを、お知らせいたします。

記

1. ミッション3にて使用する APEX 1.0 (旧シリーズIIランダー) について

当社が計画する初の大型商業ミッションであるミッション3にて使用するランダー、Apex 1.0は、月面と月周回軌道のどちらにもペイロードを輸送することが可能な設計となっており、ミッション3では月面に最大300kgのペイロードを輸送する計画です。また、ミッション4以降は最大500kgまでミッション搭載可能ペイロード輸送が可能となるような開発を目指しています。また複数のペイロードベイを備えたモジュール式のペイロードデザインを採用しているため、政府系、民間、科学分野などの、より幅広い顧客のペイロードに最適化できる柔軟性があります。

2. ランダー開発の進捗について

当社のランダー開発においては、「段階的プロジェクト計画法におけるシステムエンジニアリング活動」を採用し、各フェーズで行われるべき作業プロセスが完了次第、それぞれのフェーズにおける結果について外部有識者を交えて評価を行い、次フェーズへの移行可否を判断する技術審査を行っております。ispace U.S.は既に、ミッション3にて使用する APEX 1.0のサブシステムの開発に係る PDR を昨年完了しており、今般、ミッション運用に係る PDR が全て完了したことにより、一連の PDR がすべて終了いたしました。

3. 今後の見通し

開発スケジュールに関しましては、PDR 完了後、基本設計の段階から詳細設計の段階に入ります。ミッション3においても、詳細設計から制作・試験に入っていく段階に既にあり、制作の準備が順調に進んでおります。現行のスケジュールでは、今年度中に APEX 1.0 の CDR (Critical Design Review) を実施予定です。引き続き重要な開発マイルストーンの達成状況や、開発に関し

開示すべき事項が生じた場合には、適時適切に開示をいたします。

以上